# 日光　切込湖・刈込湖スノーシュー

日　程　：2018 年 1 月 20 日（土）　日帰り

コースタイム：切込湖登山口 9:35-小峠 10:50/11:00-刈込瑚 11:50/12:05-小峠 12:45-蓼の湖 13:00/13:10ー切込湖登山口 13:35

切込湖・刈込湖コース

切込湖・刈込湖コースは奥日光の奥も奥、いろは坂を登り、中禅寺湖の湖畔を通り、さらに戦場ヶ原、そして凍りついた湯ノ湖を通り過ぎて日光・湯元温泉へ。もくもくと蒸気をあげる湯ノ平湿原の脇から急登を登っていく。今年の日光は雪が少ないらしく、いつもはきれいに雪に埋まる戦場ヶ原が、今年は黄金色の枯草がしっかり雪の上に顔を出していて、とてもスノーシューハイクを楽しめるような状態ではない。しかし、ここまで来ればしっかりと雪がある。

1 週間前に下見をしてくれた和田さんによると、下見の時はトレースがなく、もふもふの雪に埋まりながらの歩行で、途中の小峠まで行くのがやっとだったそうだ。しかし、この日はお天気も良く、ぽかぽか陽気で、雪は締まってとても歩きやすい。スノーシューの浮力を試すにはちょっと物足りないかもしれないが、表面が凍った新雪の上をスノーシューでバリバリ割りながら歩くのもまた楽しい。そして、水色のテープがちゃんと冬道へ誘導してくれるので安心だ。

湯ノ平湿原から金精峠まで登ってしまえば、あとのコースはほぼ平坦な道で、途中、「蓼（たで）の海」の水面のキラキラがまぶしすぎる。
あ～、厳しさゼロのスノーハイク、最高！最近登った雪山では、寒すぎて立ち止まるとあっというまに体が冷えてしまうので、とても写真を撮る気も起きなかったけど、この日は、真っ白い雪の上に写る、繊細な木の枝の影の撮影に夢中になった。

日光湯元温泉のおすすめは・・

下山後は、日光湯元温泉でひとっぷろ。おすすめは、湯ノ湖の目の前にある、おおるり山荘である。ここの温泉は、施設は古いが、500 円でなんとタオル付き。しかも、湯船は決してせまくなく、白濁したお湯の内湯と、緑っぽい透明のお湯の露天風呂の２つの泉質を楽しめる。ただ、唯一の難点は、脱衣場の貴重品用ロッカーのカギは全体的に壊れ気味なので、あちこち試して壊れてないロッカーを探さなくてはならないこと。

切込胡・刈込胡スノーシューハイクと日光湯元温泉、毎年恒例にしてもよいくらいのオススメコースだと思います。